



今月の表紙 涼しげな不動の滝遊歩道にて
今号6～7ページでご紹介している「町内の涼しいところ」を探して不動の滝を訪れました。
数日前に降った雨の影響か、水量も多くて迫力満点。水しぶきがかかるのも気にせずカメラを構え続けました。
そして帰り際、うっそうと茂る木々と遊歩道の様子がとても涼しげなのを発見。今月の表紙はこれでいこうと思った瞬間でした。暑い日が続きます。少しでも「涼」を感じていただければ幸いです。

目次 contents

- 2 シリーズ 地域再発見の学び舎
川根茶塾専門講座「川根茶の心を知る」を開催しました
- 4 〈3回シリーズ〉静岡県戦略課題研究リポート 大井川流域の景観を考える 第3回
川根らしい茶園景観とは…／地域景観再発見！の参加者募集
- 6 涼をもとめて ～町内、涼しいところ探し。～
- 8 役場の窓辺から
産業文化祭の日程が決まりました／特設人権相談所の開設／人へ、未来へ！「接岨湖フェスタ」の開催案内／ほか
- 15 まちの話題
社会を明るくする運動街頭啓発を実施／中川根南部小で交通安全教室開催／平成19年度町茶品評会を開催／ほか
- 19 地球に “イイコト” 始めよう 地球温暖化を防ぐために何ができるだろう？
- 20 生涯学習のひろば 生涯学習推進協議会開催／むつみ学級が始まりました／ほか
- 22 暮らしの情報ページ
危険物取扱者試験のご案内／地上アナログテレビ放送終了のお知らせ／応急手当普及員養成講習などのご案内／ほか
- 24 みんなの広場
戸籍の窓辺／生まれてくれて、ありがとう／クッキングレシピ かざり寿司／ほか
- 26 学校レポーター'sコラム
川根高等学校 1年 中村昂亮さん

綴じ込み 暮らしのカレンダー



P5



P7



P13



P15



海野さんの説明に熱心に耳を傾ける塾生たち 香味園の茶工場にて



かわねちゃじゅく

【川根茶塾】

川根本町には、地域の歴史や文化、風土、伝統などを多方面から楽しみながら学ぶ講座があります。地域の魅力を発掘する「千年の学校」と「川根茶塾」。この2つの講座を通して、自らが住む地域に誇りを持つ人材を育成し、活力に満ちたまちづくりの実現を目指しています。このシリーズでは、地域の魅力を掘り起こす各講座の様子をお伝えしていきます。

久さん（池の谷地区）で、11年前に3軒の農家で製茶工場「香味園」を設立し、川根茶づくり、まちづくりに取り組んでいます。 海野さんは、7年前から援農隊「ボラバイト」（農業や酪農作業を体験したい若者が登録し、北海道から沖縄までの農家・牧場などで1週間から数週間ほど住み込みで働く。ボラバイトとはボランティアとアルバイトを合わせた造語）の若者を毎年数名、受け入れており「援農隊で来る若者は柔和で順応性、協調性があり、皆いい子です。その子たちに毎年元気をもらっています」と語り「茶農家の後継者不足はどうにもならないと考えています。援農隊のような若者や退職した団塊の世代などの外部	専門講座「川根茶の心を知る」 6月9日、香味園（三益地区）において、塾生20名が参加し第2回専門講座が行われました。 今年の川根茶塾のテーマは、川根茶の心を知る。抽象的なテーマですが、川根茶をつくる人、売る人など川根茶に関わっている人との交流を通じて「川根茶の心」を感じるといいます。 今回の講師は、茶農家の海野善久さん（池の谷地区）で、11年前に3軒の農家で製茶工場「香味園」を設立し、川根茶づくり、まちづくりに取り組んでいます。 海野さんは、7年前から援農隊「ボラバイト」（農業や酪農作業を体験したい若者が登録し、北海道から沖縄までの農家・牧場などで1週間から数週間ほど住み込みで働く。ボラバイトとはボランティアとアルバイトを合わせた造語）の若者を毎年数名、受け入れており「援農隊で来る若者は柔和で順応性、協調性があり、皆いい子です。その子たちに毎年元気をもらっています」と語り「茶農家の後継者不足はどうにもならないと考えています。援農隊のような若者や退職した団塊の世代などの外部
---	---